

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22898	
事業名	子育て短期支援費						
評価担当課	所属名	子)児童相談所 地域連携課					
	課長名	山形	担当者名	山本・海野	電話番号	011-622-8620	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	【子育て短期支援事業】家庭における児童の養育が一時的に困難となった期間の養育を補完する。 【養育支援員派遣事業】支援が必要な家庭の養育状況を改善し、児童の安定的な養育につなげる。				
		長期	【子育て短期支援事業】児童及びその家庭の福祉の向上を図る。 【養育支援員派遣事業】在宅で継続的に支援する体制を強化して虐待の発生を防止し、世帯の地域での生活を支える。				
	取組内容	【子育て短期支援事業】児童を養育している家庭の保護者が疾病等の社会的な事由により、家庭での養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等において一時的に養育することにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。 【養育支援員派遣事業】児童の養育を支援することが特に必要と認められる家庭に対し、家事支援や育児支援を行う者を派遣して支援することで、当該家庭における安定した児童の養育につなげる。					
	実施結果	令和3年度利用実績(延べ日数): 1, 456日					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	児童及び児童を養育している家庭の保護者			開始	平成8年度	終了	0年度
関連法令・条令・要綱等	児童福祉法、児童福祉法施行規則、子ども・子育て支援法、札幌市子育て短期支援事業実施要綱、児童福祉法養育支援訪問事業実施要綱、札幌市養育支援員派遣事業実施要綱						
他都市の状況	【養育支援員派遣事業】他政令指定都市の多くで、養育支援訪問事業による家事支援・育児支援を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	18,161	18,759	9,057	19,442
うち特定財源	12,107	12,506	6,038	12,961
人工	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440
計(事業費+人件費)	19,601	20,199	10,497	20,882
事業費の内訳	令和3年度決算	委託料 決算額 9,057千円		
	令和4年度予算	委託料 予算額 19,442千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	子育て支援短期利用事業利用延日数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1796	2924	1456	2926	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	家庭における養育が一時的に困難となった世帯に対し、その期間児童養護施設及び乳児院において養育することで、児童及びその家庭福祉の向上を図ることに寄与することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	市内児童養護施設及び乳児院(計6施設)で実施しており、一定程度受け皿を確保していることから、事業規模は適切である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	設備・職員体制等が整っている児童養護施設・乳児院への委託が適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	家庭における養育が一時的に困難となった世帯に対し、受け皿を確保し適切な支援を提供できている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	一定数の受け皿を確保することができており、必要な世帯に対して適切な支援を提供できている。一方で、子育て短期支援事業が、予防的な家庭支援としてより機能するためには、事業の利用に至るハードルを下げ、利用しやすい仕組みを構築する必要があり、今後の検討課題としたい。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 なし			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 なし		見直し効果額 0千円	